



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 13> 令和6年3月26日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)

866-5789 (相談室)

<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>



温かい学校

校長 渡邊 哲哉

穏やかな雰囲気の中、卒業式も終わり、令和5年度も最終日を迎えることとなりました。この令和5年度は、みなさんにとってどのような1年だったのでしょうか？自分自身で成長を感じることでできた充実した1年であった人もいます。今振り返ってみると、もう少し頑張ることができたかも…と、思っている人がいるかもしれません。感じたことは、人それぞれです。それが正しいのか、そうでないかは、他の人が判断することではありません。私から見た、令和5年度の白幡中のみなさんは、「自分を伸ばそう(力を発揮しよう)！」と頑張る姿勢を表すことができた1年であったと思います。学習の面や委員会係活動、部活動、友だち関係など、人それぞれですが、みなさんが持っている力を伸ばすことにチャレンジしている姿を多く見ることができたので、このように感じました。もし、不本意なことあったとしても、それも自分自身気が付いていることと思います。ぜひ、改善してこれからの力にしてほしいと思います。

卒業式で、こんな話をさせていただきました。「卒業生は、義務教育を修了し、これからは自分の意志で進んでいくこととなります。しかし、まだまだ未熟な面があります。程よい距離感で見守り、時に助言し、時に手を貸してあげてください。自転車に乗る練習をしたあの頃のように…」自転車に乗る練習をしていた時には、あんなに諦めずに失敗しても転んでも何度でもチャレンジしていたのではないのでしょうか。上手に乗ることができた時の満面の笑みは本当に輝いていました。そして、支える私たちは、失敗しても転んでもあきらめることがないように、叱るのではなく怒るのではなく、優しくアドバイスし、前向きに励ましていたように思います。もし、自分ができなくてもあきらめなければ、もし、できないことに対して怒りの感情をぶつけなければ、子どもはもっともっと伸びたのではないかと。自分の子育ての中での反省点です。先日、ニュースになった、日本初の民間ロケットは失敗しましたが、もし、責任の追及だけで終わってしまったらその企業は、二度と打ち上げることはしないでしょう。そしてこれまでの研究は、生かされないでしょう。課題を検証し、改善するから成長します。それを支えるから成功します。そうすれば、今回の打ち上げで必要であった何億円という資金も無駄ではなくなります。

よいところを認め、課題を話し合い、解決に向けて協力していくことで成長があります。信頼関係が深まります。一度や二度の失敗で諦めて投げ出すのではなく、よく反省して見直し(ここはとても大切です。これをしないで周りのせいにはいけません)、再チャレンジしてみたいと思います。それを見守り支える、友だちであり、大人でありたいと思います。

さて、本年度の白幡中学校は温かい学校であったのでしょうか？明日も学校に行くのが楽しみな学校であったのでしょうか？私たちも全力で取り組んでいます。しかし、うまく伝えられないこともあったと思います。それを、「理解できない方が悪い」で済ますことなく、「どのようにすれば伝わるか」を考えて、令和6年度も、日々努力してまいります。保護者、地域のみなさま一年間お世話になりました。ありがとうございました。令和6年度も白幡中学校にお力添えをいただきますよう、よろしくお願いたします。